

国際シンポジウム 認知症の人にやさしい街をめざして

私たちの認知症フレンドリーコミュニティづくり

世界が高齢化社会を迎えるなか、認知症対策は先進各国の喫緊の課題です。なかでも認知症の当事者が住み慣れた街で安心して暮らし続けることができる「認知症フレンドリーコミュニティ (DFC)」は、日本をはじめ世界で取り組みが続いています。国をあげてこのDFCを推進している英国のプリマス市は、認知症カフェ、公共交通機関、サッカー場など様々な部門が連携して包括的な街づくりを進め、DFCの成功例として世界的に有名です。今回、同市の牽引役となったイアン・シェリフ氏をお招きし、街づくりのノウハウを語っていただきます。また東京都町田市や福岡県大牟田市、ベルギーやアジア各国の事例の紹介など、DFCについて考えるシンポジウムです。



NPO法人認知症
フレンドシップクラブ 理事
徳田雄人さん



福岡県大牟田市・
白川病院医療連携室長
猿渡進平さん



進行役
慶應義塾大学大学院
健康マネジメント研究科教授
堀田聡子さん



英ブリクストン・イーラム地区
認知症フレンドリーコミュニティ代表
リズ・ヒッチンスさん



英プリマス大
認知症学術パートナーシップリーダー
イアン・シェリフさん



国際アルツハイマー病協会 (ADI)
アジア太平洋地区ディレクター
DY・スハルヤさん



ベルギー・フランダース
認知症対策コミュニケーション担当
オリビエ・コンスタントさん



日程
会場

2019年 5/18 [土] 14:00~17:00

コングレコンベンションセンター (グランフロント大阪北館B2F)

参加費:1,000円

※同時通訳のレシーバー代を含む

定員:300人

国際シンポジウム 認知症の人にやさしい街をめざして

プログラム

※シンポジウムの内容はすべてレシーバーを通じて同時通訳されます。

14:00～15:00	<p>基調講演 「認知症フレンドリーコミュニティ構築の道のり」</p> <p>講演者=イアン・シェリフさん、オリビエ・コンスタントさん、徳田雄人さん</p>
15:00～15:20	<p>認知症の人にやさしい街づくりを進める世界の関係者からメッセージ (現地と会場をライブ映像でつなぎます)</p>
15:20～15:30	休憩
15:30～17:00	<p>シンポジウム 「いかにして認知症フレンドリーコミュニティ作りを加速させるか」</p> <p>パネリスト=イアン・シェリフさん、リズ・ヒッチンスさん、オリビエ・コンスタントさん、 DY・スハルヤさん、猿渡進平さん</p> <p>進行役=堀田聡子さん</p>
18:00～20:00	懇親会(グランフロント大阪南館のレストランを予定)

懇親会

講師の方々とシンポジウムの参加者が直接交流いただけます。
立食形式で通訳もいますので、ぜひご参加ください。
参加費は1,500円です。

シンポジウム参加申込書

ご職業、所属 (団体・会社名など)					
ふりがな 氏名 (複数名の場合は代表者名)		性別	男・女	参加人数	人
住所	〒 _____				
電話番号		懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する ()人 <input type="checkbox"/> 参加しない		

※ご提供いただいた個人情報は個人情報保護規定に従い、シンポジウムに関する目的以外には使用しません。

上記申込書にご記入の上、このままファクスで送信してください。

FAX 06-6231-3004

ホームページ、Eメール、はがきでもお申込できます。

ホームページ <http://www.asahi-welfare.or.jp/>

Eメール dementia-o@asahi-welfare.or.jp

はがき 〒530-8211 (住所不要)
朝日新聞厚生文化事業団「認知症シンポ・大阪」係

※参加決定の方には聴講券を送付しますので、当日ご持参ください。

お問い合わせ
朝日新聞厚生文化事業団 電話06-6201-8008

【会場】 コングレコンベンションセンター
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館B2F

